

=====

【ソフト名】Silent Player KKT

【バージョン】Ver.1.9

【動作確認OS】Windows10、Windows11

【必要なもの】.NET Framework4.7.2以上

【ソフト種別】フリーウェア

【禁止事項】転載、二次配布および販売することを禁止します。

【免責事項】本ソフトおよびマニュアルに記載した事項は無償・無保証・無サポートです。

本ソフトを使用し機器、その他に支障が生じてても一切の責任をもちません。

【連絡先】mail: msbunakisa@outlook.jp

【Copyright】2025 gaku

=====

◆ソフトの説明

PCをテレビにHDMIで接続しテレビから音声を出すと最初の0.5秒程度が欠ける場合があります。

その対策として「無音」を再生し続ける方法があります。

・本ソフトは同封した無音(silent.wav)をループ再生し続けます。

◆使用方法

・SilentPlayerKKT19.exe(プログラム本体)と silent.wav(無音の音源)を同じフォルダに置いて SilentPlayerKKT19.exe をダブルクリックします。

・実行すると常駐タスクトレイにアイコンが表示されます。画像1(音の波形をイメージ)

・実行した時点で無音再生が始まります。

・タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。画像2

・”フォームを開く”を選ぶとSilentPlayerKKT1.9のフォームが表示されます。画像3

・必要に応じショートカットをスタートアップに登録してください。(方法は調べてください)

◆注意

このVer.はWindowsのシステムファイル変更やレジストリーの変更などをできるだけ行わないようにしましたので以下の注意が必要です。

・スリープに入ると再生が止まる可能性があります。OS復帰後に再生の試行を行いません。よってスリープに入った場合はSilentPlayerKKT19.exeを終了し再度の起動が必要になります。

番号案内掲示板の補助として作成したソフトなのでOSで「スリープしない」設定は必須です。

・番号案内掲示板Ver260RでプログラムからSilentPlayerを起動しない仕様にしたので常時使用時はスタートアップへの登録を手動で行う必要があります。

(チャイムの音欠けがない場合、使用の必要はありません)

画像1



画像2



画像3



◆Silent Player KKTの起動時に「WindowsによってPCが保護されました」と表示されることについて

SilentPlayerKKT19.exeを実行すると図1の警告がでる場合があります。

これはPCに危害を及ぼす可能性がある場合にPCを保護するために表示される画面です。

安全なアプリやファイルでも、発行元が不明な場合やダウンロードされた実績が少ない場合に

表示されることがあります。安全性のリスクを理解したうえで次に進む場合には、図1の赤矢印

部分の”詳細情報”をクリックすると図2の警告に変わり、アプリの名称と発行元が表示されます。

自作ソフトのほとんどは不明な

発行元だと思います。

この情報だけで安全性が確認

できるはずありませんが、

それを理解したうえで実行する

場合は図2の実行ボタンを押し

ます。

これで本ソフトが起動します。

図1

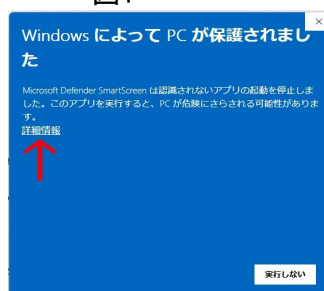


図2



=====

バージョン履歴

- 1.0 ソフト名 : 番号案内電子掲示板の音欠け対策として作ったツールを単独ソフトとして登録
- 1.01 Google Chromeでダウンロード時に何故か警告が出るので対策になるか不明だがタスクバー最小化起動を止め通常に変更。
- 2.0 タスクトレイ常駐型にしました。多重起動禁止部分のプログラムを変更しました。
- 2.1 タスクトレイに戻すボタンを追加しました。
スリープに入ってもスリープから復帰時にsilent.wavを再生する指示を追加しました。
番号案内添付版 ソースコード公開の中止
- 1.9 スリープの検知とOS復帰後の再生の試行をプログラムから削除しました。